

## 資産運用レポート：二極化相場の銘柄選び

### 1 はじめに

2018年以降、二極化相場が続いたことで、買われたグロース株と買われなかったバリュー株のパフォーマンスに大きな差が付きまして。

下図によると、グロース株の旗手であるリクルートが150%を上回るパフォーマンスを演じているのに対して、バリュー株を代表する三菱UFJは日経平均を下回るどころか、マイナスのパフォーマンスに甘んじています。

裏を返せば、グロース株とバリュー株のバリュエーションが相当に開いており、グロース株はますます割高に、バリュー株はますます割安になっていると想定されます。

長期的にバリュー株のパフォーマンスはグロース株を上回っており、マーケットの特性であるミーン・リバージョン（平均回帰）を考慮すれば、中長期的にこの差は是正されると考えるのが自然ではないでしょうか。

今回の資産運用レポートでは、二極化相場における銘柄選びについて考察してみました。

#### ★リクルートHD、三菱UFJFG、日経平均の比較チャート

